

日本生活科・総合的学習教育学会

第26回全国大会 東京大会のご案内

《大会テーマ》

未来への希望と力を育む ～首都東京から発信する生活・総合の学び～

東京大会は、変化の動きの中での全国大会です。平成29年3月には、次期学習指導要領が告示されると聞いています。その三ヶ月後の東京大会です。学校・教職員のみならず、保護者・社会一般の皆様、「学習指導要領改訂のひな形ともなった生活科と総合的な学習の時間における児童・生徒の学びの実際の姿、育つ力、育てる力、改訂に対応する具体策」などへの興味・関心が高まっています。

全国の会員の皆様と、また、当日参加していただく生活科・総合的学習に興味・関心のある多くの皆様と、研究実践などを交流し合い、学び合い、議論を深めたいと思います。全国の多くの皆様のご参加をお待ちしています。

■ 日程と会場

◇第1日 6月17日(土)

◆午前 ① 公開保育・公開授業・授業研究

会場：新宿区立四谷子ども園、渋谷区立千駄谷幼稚園（渋谷区千駄谷なかよし園）
新宿区立四谷小学校、渋谷区立千駄谷小学校、豊島区立西池袋中学校

◆午後 ② 理事会（会場：豊島区立西池袋中学校）

③ 自由研究発表

（会場：豊島区立西池袋中学校、豊島区立池袋第三小学校 各教室）

④ 総会（会場：立教大学 池袋キャンパス）

⑤ 懇親会（会場：立教大学 第一食堂1F）

9:00 9:30 10:30 12:00 12:50 14:00 16:30 17:00 17:45 18:00

受付	公開授業 公開保育	授業研究	移動 昼食	理事 会	自由研究発表	移動	総会	移動	懇親会
	新宿区立四谷子ども園 渋谷区立千駄谷幼稚園 （渋谷区千駄谷なかよし園） 新宿区立四谷小学校 渋谷区立千駄谷小学校 豊島区立西池袋中学校				豊島区立 西池袋中学校 豊島区立 池袋第三小学校		立教大学 （池袋キ ャンパス）		立教大学 第一食堂 1F

◇第2日 6月18日(日)

① 課題別研究発表

② 全体会（開・閉会行事・シンポジウム）

（会場：立教大学 池袋キャンパス）

8:00 (8:45)8:30 9:00 10:30 10:45 11:00 12:40 13:00

地域世話 人会	受付	課題別研究 発表	移 動	開会行事	シンポジウム	閉会行事
立教大学（池袋キャンパス）						

■ 各会場の最寄り駅

- ◇立教大学（池袋キャンパス）・・・「池袋駅」徒歩7分
- ◇豊島区立西池袋中学校　・・・「池袋駅」徒歩13分
- ◇豊島区立池袋第三小学校　・・・「池袋駅」徒歩10分

※池袋第三小学校は、校舎の改築が完成して、平成29年1月から下記の所在地に移転しています。
（〒171-0021 豊島区西池袋三丁目14番3号）

◇新宿区立四谷小学校、新宿区立四谷子ども園

・・・「四谷駅」徒歩7分、地下鉄「四谷三丁目駅」徒歩8分

◇渋谷区立千駄谷小学校、渋谷区立千駄谷幼稚園（渋谷区千駄谷なかよし園）

・・・「原宿駅」（竹下通り口）徒歩8分、地下鉄「北参道駅」徒歩5分

★ 東京大会事務局から

- ・1日目の昼食は、午前の公開授業・公開保育の会場校舎から、午後の自由研究発表の会場である豊島区立西池袋中学校と池袋第三小学校への移動の際に、各自でおとりください。
- ・豊島区立西池袋中学校、池袋第三小学校から、立教大学へは、徒歩6～7分で移動できます。

■ 東京大会シンポジウム ～「未来への希望と力を育む生活科・総合的な学習の『深い学び』」～

次期学習指導要領改訂のもととなる中央教育審議会の答申が、平成28年12月21日に取りまとめられ公表されました。東京大会では、この中央教育審議会答申のキーワードの中でも、生活科と総合的な学習の時間における「深い学び」に焦点をあててシンポジウムを行います。これにより、生活科と総合的な学習の時間の、今後の授業づくりの方策や見通し、課題がつかめるのではないかと考えました。

シンポジウムのテーマは、「未来への希望と力を育む生活科・総合的な学習の『深い学び』」です。

また、子どもの学びの姿の実際に即して、シンポジストの先生の話をお聞きしたい、討論していただきたいと考え、生活科と総合的な学習の時間の授業の実際を収録し、当日、実践者から画像等を活用して紹介したいと考えています。

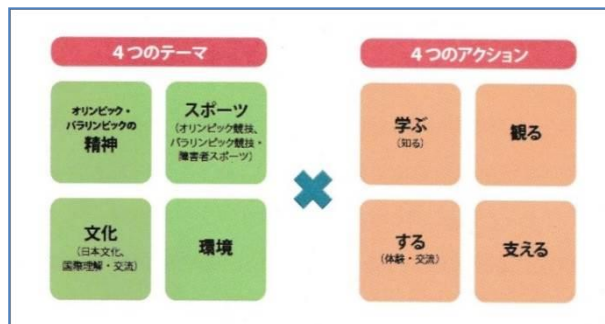
シンポジストには、上智大学教授 奈須正裕先生、文部科学省視学官 田村学先生にお願いし、コーディネーターは、東京大会会長 和田信行がつとめます。

■ 課題別研究発表（開催地枠） ～オリ・パラ教育を、総合的学習のカリ・マネの視点で～

課題別研究（開催地枠）では、副主題「首都東京から発信する生活・総合の学び」を踏まえ、東京都が、平成28年度から都内の全公立小・中学校、都立高校で実施している「オリンピック・パラリンピック教育」を取り上げます。

この「オリンピック・パラリンピック教育」は、総合的な学習の時間だけで行うものではなく、全教科領域で、「オリンピック・パラリンピック教育の基本的枠組み」にある「4つのテーマ」と「4つのアクション」（図）をもとに、計画・実施するものとされ、各校の創意工夫に任されています。しかし、この「4つのテーマ」と「4つのアクション」には、これまで総合的な学習の時間で実践してきた題材や、具体的な学習活動との親和性が高いものが多く、探究のプロセスの中で展開してこそ、子ども一人ひとりにとって価値ある教育活動になっていくものと考えられます。

そこで、東京都内の小学校の実践事例を取り上げ、校長のビジョンとリーダーシップの下、総合的な学習の時間における探究的な学びを中心とした指導計画の作成と実施について、カリキュラム・マネジメントの視点から検討していきます。全国の皆様の参加と議論をお願いしたいと思います。



【オリンピック・パラリンピック教育の基本的枠組み】